

ボランティアは北アイルランド Strangford 近郊のコミュニティ・センターである Glebe House において行われた。Glebe House ではカソリック・プロテスタントの様々な地域から参加する人々と積極的に交流し、平和に暮らすために必要な各々の異文化相違を理解するための活動を行っている。北アイルランドでは、過去と比べると落ち着いてはいるものの、現在もカソリック・プロテスタント（ナショナリスト・ユニオニスト）間の対立が少なからず続いており、両者の敵対感情は根強い。今回私が参加したボランティアは、夏に行った主に地域のカソリック・プロテスタントの子供たちの交流活動の片づけ、そして秋に行われる活動への準備であった。ボランティアの期間は8月30日～9月10日の12日間であった。

主な活動内容

- 清掃作業……Glebe House 敷地内の建物の掃除、庭や果汁園の草抜きや剪定、ドンキーを飼育している牧場の草抜きや飼育小屋の糞などの清掃を行った。草抜きや剪定・牧場や小屋の清掃はそれぞれのべ二日間程度で、敷地内の建物の掃除が今回のボランティア活動の主な仕事であった。敷地内には五つほどの建物があったが、その中の頻繁に使用する三つの建物を集中的に掃除した。一つ目の建物は、主に交流活動やボランティアの参加者の宿泊する目的で使用されているメイン・ハウスで、ベッドルームやシャワー設備があった。二つ目は、広々とした大きな一部屋が占めており、子供たちが遊んだり、スクリーンを使って映像を見たりと多目的で使われていた。三つ目はクラフト・ハウスと呼ばれており、名前の通り交流活動に参加する子供たちや大人が工作をして楽しむ部屋があった。これら三つの建物の内外ともに清掃を行った。
- 改装……牧場の扉を別の位置に移動させたりした。また改装ではないが、不要になった牧場の柵の解体も行った。改装は・解体は合計して半日間かけて行った。
- 塗装……私自身は行っていないが、他のボランティア参加者が部屋のペンキ塗りをしていた。塗装は担当者が二～三日間かけて行った。
- 小道の清掃……Glebe House の入り口の小道の清掃をした。落ち葉や枝を掃除し、また道沿いの芝生の雑草を抜いたりした。また建物の外を掃除すると、枯葉や虫の死骸などが散乱するため、建物周辺や近くの道は建物の清掃と同時に進行した。Glebe House の入口の清掃はのべ二日間かけて行われた。
- レクチャー……晩にわたってよく行われた。内容はボランティア団体の紹介やアイルランドの宗教（対立）・歴史・政治・地域の話などであった。レクチャーは北アイルランド・ロンドンデリー出身であるセンター長によって行われた（ロンドンデリーはベルファストに並んでカソリック・プロテスタント間の宗教対立が激しい地域であったとされている。）21～22時ごろから始まり、24時近くまで話は続いた。言語はもちろん英語であったが、スクリーンに映写しながら行われることがほとんどであったため、内容は理解しやすかった。

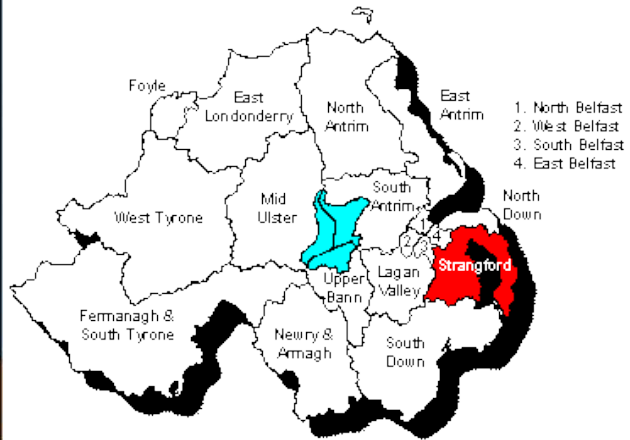
- 視察……数回のレクチャーの後に、週末を利用してレクチャーの内容に沿った風景や建物を実際に見て説明を受けた。ベルファストでは主に宗教対立や政治的な場所（国会など）を、Glebe House 周辺を回る際は地域・歴史について関連があるものを視察した。

主な一日のスケジュール

	7:00	9:30	12:00	13:00	18:00	19:00	24:00
睡眠	起床 朝食 準備	作業	昼食	作業	夕食	レクチャー 自由時間 など	睡眠

※作業中には数回のティータイムの休憩があった

※スケジュール表はあくまで大まかなものである



(左上) <http://www.rootsweb.ancestry.com/~enghrt/>

(右上) <http://www.ark.ac.uk/elections/astr.htm>

Glebe House 敷地内のドンキーの牧場・遊具を含む

野外活動の場所↓

↓ Glebe House 内のメインハウス



↑ ナショナリストやユニオニストが自分の家の壁などに
メッセージ性のある絵を描いて自らの主張をしている

↑ カソリックとプロテスタントの居住地を分断している壁